

研究テーマ：高速ネットワーク環境での高精細画像の伝送（1/2） （プロジェクト番号JGN-G13005）

研究機関： 広島県総務企画部政策企画局情報政策室
大日本印刷株式会社

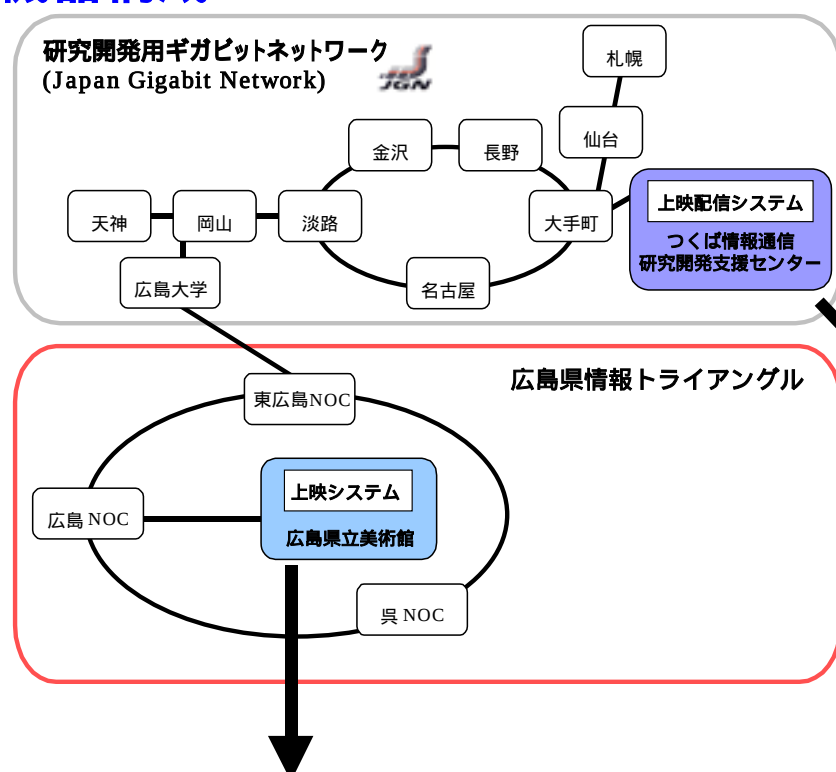
研究の概要：

広島県と大日本印刷株式会社は、広島県情報トライアングルと通信・放送機構の研究開発用ギガビットネットワーク（JGN）とを接続し、つくば情報通信研究開発支援センターの上映配信システムから、リアルタイムに高精細映像を伝送し、広島県立美術館に設置した上映システムで番組を再生するシステムの実証実験を行いました。

研究の目的：

- ・大日本印刷(株)が独自に保有するフランス国立美術館連合のデジタル化されたファインアートの情報をネットワークで伝送し、広島県立美術館で視聴できるシステムを構築しました。
- ・番組配信機能の品質面 / 安定性および、著作権管理で必要となる配信履歴情報の収集機能が技術的に問題無く動作可能かの検証を行いました。

実験機器構成：



上映配信システムの構成



広島県立美術館での番組上映風景



JGN 回線接続 ATM ブリッジ(右下)

研究テーマ：高速ネットワーク環境での高精細画像の伝送（2/2） （プロジェクト番号JGN-G13005）

研究機関： 広島県総務企画部政策企画局情報政策室
大日本印刷株式会社

研究開発成果：

- ・ 高精細静止画番組を、ネットワークを介して配信／再生できる、サーバ／クライアント型高精細静止画番組再生システムを構築しました。
- ・ 上記システムを用い、JGNを介して高精細静止画番組が安定的かつ、スタンドアロン型と同等の視聴性で動作することを検証しました。
- ・ 著作権管理で必要となる、何時、どのクライアントが、どの番組を閲覧したか等の配信履歴情報の収集が問題無く動作するかの検証を行いました。
- ・ 一般来館者に本映像を視聴していただき、今後の実用化に向けた基礎データとするために、反響／意見等を収集するアンケート調査を実施しました。

プロジェクトのアピールポイント：

高速ネットワークを利用したコンテンツ流通において、安定的番組配信の仕組みと、閲覧等の履歴情報を記録する機構により、不正利用を監視しつつ、著作物を一定レベルの品質を保持しながら安全に配信できることが確認できた。

今後の予定：

美術館／博物館等の経済的価値に富んだ高品質なデジタルデータを利用した、ネットワーク仮想美術館／博物館の構築事業への展開を進めていきます。